

「久保修 紙のジャポニスム 切り絵展」オープニングレセプション

(2015 年 10 月 5 日 於：ベイオール市芸術ギャラリー)

10 月 5 日、「久保修 紙のジャポニスム 切り絵展」の開催を記念して、オープニングレセプションが行われ、芸術家、美術館・博物館関係者、大学の芸術学部関係者、メディア関係者など約 200 人が出席しました。

本年 9 月に着任したばかりの江原総領事は、本展示会を皮切りに、更なる日土友好交流活動を促進していくと抱負を述べました。共催者を代表して挨拶した訪日直前のデミルジャン・ベイオール市長は、東京都文京区との姉妹都市協定に向けた意気込みを語りました。また、切り絵作家の久保修氏は切り絵の制作課程などを説明し、訪れた人々は興味深く聞き入っていました。

この展示会は、日本とトルコの友好関係の原点となったエルトゥールル号の遭難事故 125 周年記念行事の一環として、10 月 18 日までイスティクル通りのベイオール市芸術ギャラリーで開かれています。皆様のお越しをお待ちしております。



歓談する総領事夫妻とデミルジャン・ベイオール市長



江原総領事の開会の挨拶



切り絵の制作工程を説明する久保修氏



展示作品に見入る来場者